メールや無料通話アプリによる コミュニケーションの注意点

家族で話し合おう

コミュニケーションには様々な手段があります。直接会う・電話する・手紙を書く等、色々ありますが、今回はインターネットでメールや無料通話アプリを利用したコミュニケーションの注意点について説明します。

「誤解を与えやすい」

無料通話アプリのやり取りは、対面の会話と同じような感覚でメッセージを送ることが多いです。対面の会話では下の例のような意味がはっきりしない言葉を使うことがありますが、目の前に相手がいるので抑揚や表情などから意味を推測できます。しかし、そのような言葉をメッセージで使用した場合は文字だけで判断することになり、相手を勘違いさせてしまうことがあります。

正反対の２つの意味に勘違いしてしまう例

「あの服、可愛くない」
①可愛いと思うけれど、どう思う
②可愛く無いと思う

「私の服どう思う」
⇒「やばいね」
①可愛くてとても素敵
②センスが悪すぎてひどい

「さっきは言い過ぎたよ。ごめんね」
⇒「もういいよ」
①気にしていないから大丈夫
②あなたのことなんかどうでもいい

「気持ちが伝わりにくい」

待ち合わせの連絡等はメールや無料通話アプリのメッセージがとても便利です。記録も残りますし、聞き間違い等も起こりません。しかし、気持ちを伝えるような場合、画面の文字だけでは言葉どおりに受け入れてもらえないこともあります。絵文字やスタンプを使ってもうまく伝わるとは限りません。大事な話は直接会って気持ちを伝えることも重要ですので、無料通話アプリ等を使うのは向かないかもしれません。

昨日は本当にごめんなさい。
すごく迷惑を掛けてしまって、
本当に悪かったと反省しています。
お願いだから許してください。

「手段を使い分けよう」

このように、メールや無料通話アプリには気を付けないといけないポイントがあります。単なる連絡事項からとても重要な相談まで、全て無料通話アプリ等ですませてよいでしょうか。重要な相談や悩みは直接会って話す、すぐには会えないけど少しでも気持ちを伝える為に電話で話す、きちんとした形式を整えたいので手紙を書く、連絡事項を正確に伝える為にメールを送る…等々、内容に応じて手段を使い分けましょう。